

恩納村図書館準備室ができました

呉 屋 美奈子

平成23年4月1日恩納村役場内に図書館準備室が設置されました。村の長年の懸案事項であった図書館設置について、計画が着実に進んでいます。

恩納村では平成15年に恩納村立図書館及び中央公民館調査検討委員会を立ち上げて以降、県内関連施設の視察をはじめとした研修を積み、審議を重ね平成18年2月に図書館の必要性について答申しました。また、平成19年度には『青と緑の躍動する村～住んでよく、働いてよい、訪れてよい村～』をメインテーマに『恩納村第4次総合計画・後期基本計画』が策定され、「むらを支える教育・文化の振興」が打ち出されています。その中で「総合的な生涯学習の振興」として新たな図書館づくりが確認されました。これを受けて、平成21年3月に恩納村立図書館計画推進委員会が設置され、平成23年3月に図書館準備室設置について答申し、図書館準備室設置の実現に至りました。

また、同委員会では恩納村に求められる図書館像として「各字公民館はじめ大学院大学など村の関係機関との連携強化」、「既存施設の利用」、「費用に見合う事業の展開」、「村の観光産業と結びつく特色のある図書館作り」、「専門的職員の配置」等の議論が重ねられました。答申に基づき、準備室では、恩納村の図書館に求められる機能について検討をしています。住民の関心も高く、準備室へ村民が直接訪れ、意見を交換することもあります。

恩納村は「先端的頭脳集積地域」を目的とした大学院大学の開設推進を行っており、教育分野でも注目されています。また、豊かな自然環境を資源に県内の観光産業を担う地域としても県内外に知られている地域でもあります。加えて、人口に対する昼間人口の比率が県内で一番高い地域となっており、これらの層も対象とした幅広いサービスを視野に入れた事業展開の計画が必要です。地域の産業や地理的・歴史的背景に配慮した特色のある図書館設置を目指しています。

図書館は本来、住民が集い、住民の潜在能力を引き出し、住民の暮らしを幅広く支援し、人生を豊かにする場所です。同時に、それは地域社会を活性化させる情報の拠点としての役割も担っています。その意味で、地域社会にとって図書館の役割は大きいといえます。

準備室設置を取組の第一歩ととらえ、恩納村の情報拠点として豊かな人材を育む施設として住民と共に図書館づくりを行っていききたいと思います。



ごや みなこ：恩納村図書館準備室